

科 目 名	ゼミナール I・II	備 考
単 位 数	2 + 2 単位	

齋 賀 和 彦

デジタル映像制作/プロダクションスタイルの構築

1. 講義内容

映像制作に特化した本ゼミは、3, 4年次の2年間をかけて、自分の目指す形での映像制作能力を実務レベルで取得することを目標とします。プリプロダクション（企画、演出設計）、プロダクション（撮影）、ポストプロダクション（編集、仕上げ）の全行程を横断的かつ実践的に学習しながら、理論と感性、技術の両面から映像制作の基本能力を身につけます。

2. 到達目標

ゼミナール I では徹底したグループワークが基本となります。他者と協調し、議論し、分業し、集約する。各自の目標に沿った専門性とそれを統合するプロデュース・ディレクション能力を訓練、取得し、4年次の個別研究への基礎とするのが目標。そのプロセスにおいて「プレゼンテーション能力」、他者との協調性を軸とした「行動力、実行力」の習得に努めます（3年次での個人ワークは認められないので、履修にあたり留意してください。）「やるなら本気で。自己の成長に食欲であれ。」がゼミの掟です。

3. 関連科目

映像ストーリー論、プリプロダクション演習、ポストプロダクション演習

4. テキスト・参考書等

テキスト

「映画制作ハンドブック」林和哉 著 玄光社

メディアセンターにも置かれているのでゼミ志望者は事前の一読し、ゼミのイメージを理解しておくことを薦めます。

参考書籍「映画監督術 SHOT BY SHOT」スティーブン・D・キャッツ 著 フィルムアート社

5. 授業外における学習方法

作品制作時には、授業時間外での撮影、打ち合わせ等が必然的に発生します。その多寡は作品の内容、チームの方針により異なりますが、授業時間内のみで作品が完成することがないのは予め理解してください。ゼミは基本3限に開講されますが4限以降も作業可能な環境を用意しているので、当該日の4限をあけておくことが推奨されます（必須条件ではありませんが強く推奨）。大学生活でいちばん時間を使うのがゼミとなるため、時間外作業含め、負荷は高いことを覚悟して志望して下さい。

6. 成績評価方法

積極的参加および課題提出（複数）を重視。春学期においては参加（出席）が重要項目ですが、秋学期においては課題制作の関与度、積極性が特に重視されます。積極的関与度含む出席 40% 作品評価 60%。

春学期授業計画		秋学期授業計画	
第1回	ガイダンス	第1回	個別面談（各自目標設定）
第2回	映像制作ワークフロー（講義とディスカッション）	第2回	企画演習1, 編集レクチャー1
第3回	カメラ実習1	第3回	企画演習2, 編集レクチャー2
第4回	カメラ実習2	第4回	企画演習3, 編集レクチャー3
第5回	コンテ演習1	第5回	企画演習4, 編集レクチャー4
第6回	コンテ演習2	第6回	コンテ演習3
第7回	カメラ実習3	第7回	カメラ実習5
第8回	カメラ実習4	第8回	企画演習5
第9回	中間試写 および コンテ演習3	第9回	プレゼンテーション
第10回	ストーリーアナライズ1（講義とディスカッション）	第10回	制作実習1
第11回	プランニング演習1	第11回	制作実習2
第12回	撮影実習1	第12回	制作実習3, 編集レクチャー5
第13回	撮影実習2	第13回	制作実習4, 編集レクチャー6
第14回	編集デモンストレーション	第14回	制作実習5
第15回	試写、前期まとめ	第15回	試写、総合まとめ